

福島県鉄構工組・青年部

「ZRC工法講習会」を開催

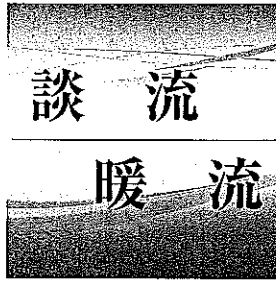
郡山市で76名が受講

福島県鉄構工業組合と同 郡山市 青年部が先月26日、郡山市 講師はゼットアールシー・の福島県ハイテクプラザで「ZRC工法講習会」を開催した。組合員76名が受講。講師はゼットアールシー・の福島県ハイテクプラザで「ZRC工法講習会」を開催した。務めた。

講習は座学と実習を通じて、ZRC工法を学ぶもので、実習では刷毛塗り後、ウェットゲージによる塗厚測定を体験し、熱心に学んだ。受講後は、施工管理者と施工者に分けてZRC工法研究会に認定登録し、修了証を会社あてに発行した。



実習に取り組む受講者



は常に危険と隣り合わせだ。以前は度重なる労災で保険料の支払い額が最大で年間850万円に達したことも。それが今では無災害により150万円程度で済む。年間600万〜700万円の経費削減となるが、その分、

がら全員で行う体操も社員の健康状態をチェックする上で不可欠な日課だ。少数精鋭の当社では社員が怪我をすると士気が下がり、生産性の低下につながるかねない。職場の安全を追求することは社員の就業意識や品質管

安全は全てに優先する

秋山 孝広

当社は昨年11月6日、休業無災害連続6年間(営業日数で2190日)を達成した。「安全は全てに優先する」をスローガンに掲げ、全社一丸で安全衛生活動に取り組んだ成果だ。目下、2555日を次の目標に掲げ、順調にいけば2月6日の達成を予定する。

安全対策に投資している。02年に女性従業員が機械にはさまれて人差し指を失う事故が発生した。以来、5Sの実践や安全委員会による事故の再発・未然防止策の検討などを通じ本格的に安全衛生活動を推進してきた。毎朝、社長が号令をかける

理体制の改善を促し、モノづくりの根幹にある製品品質と技術力、生産効率の向上にも寄与する。したがって、「安全は全てに優先する」のだ。

当社はアンカーボルトやターンバックルなどの製造・販売を手がけ、大型のプレス機や転造機を設備するため、工場作業

そこで、基本の5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を実践すること

筆者紹介▽1957年12月8日生まれ、東京都足立区出身、日本大学経済学部卒。趣味は鯛釣り



秋山孝広氏

Furusato

ローラーサンダー FS-60B

電気用品安全法新基準対応

モテルチェン

FURUSATO ORIGINAL

TRB砥石

TRB砥石は純正品をご使用下さい
TRB砥石の類似品にご注意下さい

180 ϕ オフセット
TRB砥石=8分 VS 砥石=33分

作業性4倍

(※1㎡鋼板黒皮除去にかかる作業時間比)

1. モーター改善により、【省エネ】&【耐久性】が向上!
2. カラーは爽やかブルー色へ
3. 握部を持ち易く(細軸56 ϕ)

お客さまの必要なものを **フルサト工業株式会社**

大阪市中央区南新町1-2-10 〒540-0024 TEL06-6946-9601 FAX06-6946-9781 <http://www.furusato.co.jp/>

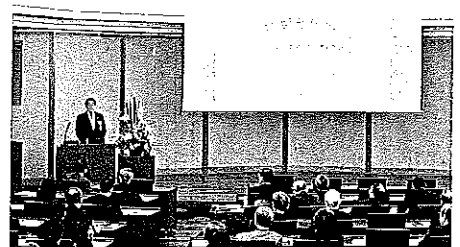
30周年記念式典を開催

鋼橋技術研究会

鋼橋技術研究会(会長 藤野陽三・横浜国立大学教授)は、10月31日に東京大学内の伊藤謝恩ホールで30周年記念式典を開催した。会場には関係者ら100名以上が参加した。

藤野会長は開会のあいさつで「鋼橋技術研究会は、

鋼橋技術研究会 創立30周年記念式典

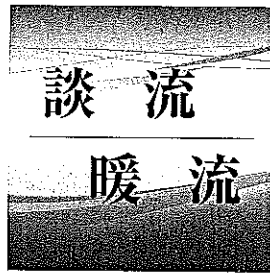


あいさつする藤野会長

1984年に伊藤先生をはじめとする学識者と民間のエンジニアが集まり研究する場として設立されました。30周年を迎える現在は、インフラの更新・維持管理がクローズアップされ、設立のころとは異なるインフラを長持ちさせる技術へのニーズが高まっている。鋼橋技術研究会はそうした二

ーズに対して学識者、鋼橋ファブ、コンサルタントなどが集まる中立的な立場の団体として、技術的に応えていなくてはいけない」と語った。

式典には日本橋梁建設協会、建設コンサルタンツ協会、九州橋梁・構造工学研究会、北海道土木技術会などから来賓が出席し、祝辞を述べた。



子育て世代を応援

秋山 孝広

子供って育てるのにお金が掛かりますよね(金食い虫ですよ)!! 出産から大学卒業までの基本養育費と学費を合わせると、幼稚園から大学まで国立に通っても約3000万円、高校・大学が私立では約3400万円も掛かるそうです。

わたしの場合、3人の子供が高校から私立に行

き、下の2人はまだ大学1年生と2年生ですので、あと3年半頑張らねばなりません。確かに子育ては大変です。とはいえ、厚労省によると昨年の出生率は1.43人と2人を

まず当社としてできることはないかと考え、10年前に子育て支援として出産・入学祝い金制度を作りました。出産祝い金として30万円、入学祝い金として小中学校10万円、

ら戻って来られるように、最大限配慮をしています。業務への習熟度が高い社員であればなおさらのこと。会社としても新人を雇うよりはメリットが大きく、社員も復帰が決まっていれば、安心して子育てに専念できるというものです。

大幅に下回っており、このままでは将来、誰が自分たち世代の老後を養ってくれるのかと本気で心配になります。

わたしにとって社員は子供、その子供は自分の孫にあたるという思いで、制服代・机代としてこの子育て支援を続けていきます。「アキテックで働いているから、もう1人子供を持てるかな」と思ってもらえれば幸いです。

国や行政主体の早期の子育て支援対策に期待するところではあります。

また当然ながら、女性社員が出産のために1度職場を離れても、子供が1歳になり、保育園に預けられるようになってか

(アキテック社長)

橋梁・トンネルなど道路構造物分野に特化したweb ニュース&マッチングサイト

『道路構造物ジャーナルNET』好評配信中

「ホットインタビュー」

(発注機関の責任者を主対象としたタイムリーなインタビュー)

webの特性を生かし、写真や図面をふんだんに用いた分かりやすい情報サイト。

「現場を巡る」

(全国の特徴的な工事現場ルポ)

無料で閲覧が可能

「工法・材料ライブラリー」

(現場に役立つ特殊工法・材料を収納)

インタビューや現場を巡るではキーワードごとのリンクで、工法や材料ライブラリー内の該当商品群にアクセスする機能も付加。

「識者連載」

(技術、知見に優れた識者による連載)

URL=<http://www.kozobutsu-hozen-journal.net/>

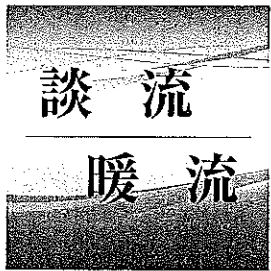
お問い合わせは、(株)鋼構造出版(TEL:03-5642-7011)まで

「東アジアの建築生産の研究教育」

国際建設技術情報研が25日に開催

NPO法人 国際建設技術情報研究所(藤盛紀明理事長)主催、日本建築学会、日本鋼構造協会、鋼構造出版などの後援による「第5回国際建設シンポジウム 東アジアの建築生産の研究教育」が、今月25日午後1時〜5時まで、東京・港区芝の建築会館で開催される。プログラムは講演の①マレーシアにおける建築生産に関する研究教育の現状と課題(三根直人氏)②韓国

における建築生産の自動化に関する研究・教育の事例(前田純一郎氏)③日本における建築生産の高度化に関する研究・教育の事例(山崎雄介氏)。特別講演では、ドイツにおける最新の研究の一つとして、建築生産の革新としての工業化、自動化、情報化の実績を踏まえ、ユビキタス技術で統合した施工・解体システムの研究開発について報告が行われる。対象者は、建設産業、住宅産業、大学、公的研究機関など。会費は2000円。申し込み・連絡先は、同研究所事務局の前田純一郎氏 (URL=akaril19194@yahoo.co.jp、0900・9007・7856)。



国産にこだわるわけ

秋山 孝広

なんだか思ったほどの景気がよくないですよ。今年度鉄骨需要は昨年度を下回る500万ト前後と予想され、当社の業績も大きく肩すかしを食った格好です。このような状況でも堅調に業績を伸ばされている経営者もあり、その経営努力を尊敬しますが、わたくしのような一般人が他力本願的に期待するのは、世の中全体の景気上昇です。

ある鉄鋼商社の営業さんとの会話で、「今年の後半から自動車向けが落ち込んでよくなかったんです」と言うので、「社長はどんな車にお乗りですか」と話を向けると、「丸が四つつながったマ」

「丸の高級ドイツ車」との答え。確かに高級外車はカッコいい！ただ、その数千円単位の金額が海外ではなく国内の企業に回つたらと考えるのは、高級外車を買えない人間の羨ましさだけが原因でしょうか？

ビジネスで輸入品を扱うことは、競争社会のなかで社と社員を守るために致し方ないところではあります。しかし、わたし自身、趣味や生活ではできるかぎり国産品を購入し、日本企業の応援をしたいとこだわっています。

例えば、産地のわからない輸入食材だけの外食チェーン店よりは、食材や店主の顔の見える居酒屋、小料理屋を利用します。最近会社で導入したLED照明・防犯カメラ

ラ・太陽光発電設備・蓄電池から宣伝用タオルに至るまで、採用に当たっては国産品を第一条件に取捨選択しました。外国製品の不買運動を扇動するつもりはありませんが、やはり安全安心を考える日本製品が一番です。

自分ひとりの消費は微々たるものではあれ、社員全員、国民全員がこのような気持ちを持共有するようになれば、それは景気の歯車をグ、グ、グググッと大きく動かす力となり、景気が上向き、全国民に返ってくると思っています。今後も「日本製品」の応援を続けていこうと思います。

(アキテック社長)

ZRCは、溶融亜鉛めっき(HOTDIP-GALVANIZING)と同等の防錆効果が得られる常温亜鉛めっき(COLD-GALVANIZING)剤です。

常温亜鉛めっき
Z.R.C.



めっき面美観用スプレー



めっき艶グロス®

- 溶融亜鉛めっき鋼材のヤケの補修
- 溶融亜鉛めっき鋼材の色相調整に

ファブリケーターに
サンプルとして本品を
1本贈呈



極東貿易グループ
株式会社 ゼットアールシー・ジャパン
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7F
[TEL] 03-3244-3830(代) [FAX] 03-3244-3997
[URL] http://www.zrc-japan.com